

氏名	高島 恭子	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	障害者福祉 精神保健福祉				
学位	修士（社会福祉学）				
学歴	1986年国際基督教大学教養学部教育学科、2003年日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程、2011年日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程満期退学				
経歴	2006年長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科講師、10年長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科准教授、17年長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科教授、17年長崎国際大学大学院人間社会学研究科教授、20年埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科准教授				
所属学会（役職）	日本社会福祉学会、日本保健福祉学会、日本グループホーム学会、日本発達障害学会、大学教育学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	よくわかるソーシャルワーカーの倫理綱領	共著	あり	学文社; P.78 担当箇所：P.28「9.社会正義 (social justice)」 「10.人権 (human rights)」	保良昌徳、松永千恵子、益子 徹、杉山佳子、春見静子、星野晴彦、甲田賢一、喜多祐荘、宮崎牧子、久保美紀、鎌田真理子、高島恭子、市川和男、増田公香、東康祐、上原正希、吉田祐一郎、北本佳子、木村 潤、高石 豪	2023.2.28
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	障害者の居住支援 ー障害者権利条約締結国報告からの示唆-	単著	あり	ソーシャルワーカー；21；P.3-16	高島恭子	2022.11.1
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	CRPD第27条・一般的意見案へのコメント（2021年12月）「障害者権利委員会の障害のある人の労働と雇用の権利に関する第27条についての一般的意見案に関する意見提出」（CERMI女性財団（スペインの非営利団体）	共著	日本障害者協議会ホームページにて公開		佐藤久夫、高島恭子	2022.6
2	「第27条1(j)職業体験について」（エリザベス・ハリントン）	共著	日本障害者協議会ホームページにて公開		佐藤久夫、高島恭子	2022.6
3	「CRPD第27条に関するイラン自閉症協会のコメント」	共著	日本障害者協議会ホームページにて公開		佐藤久夫、高島恭子	2022.6
4	セルビア全国障害者協会のコメント	共著	日本障害者協議会HP公開		佐藤久夫、高島恭子	2022.6
5	ノルウェー盲人弱視者協会からの提出報告	共著	日本障害者協議会HP公開		佐藤久夫、高島恭子	2022.6
6	CRPD第27条・一般的意見案へのコメント（2021年12月）「イネーブル女性インタナショナル」	共著	日本障害者協議会ホームページにて公開		佐藤久夫、高島恭子	2022.6
7	第27条(労働と雇用)における一般的意見案に対する連邦包摂事業所連合会（Bundesarbeitsgemeinschaft Inklusionsfirmen e.V., bagif）による意見書	共著	日本障害者協議会ホームページにて公開		野村美佐子、高島恭子	2022.6
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	精神保健福祉の原理Ⅰ	○	15	視聴覚教材や事例、ディスカッションを活用し、学生が精神保健福祉の歴史、理念について考えながら学べるよう講義を行った。
2	精神保健福祉論Ⅱ	○	15	子育て、教育、就労、居住、地域生活支援などについて、精神保健福祉の観点から講義を行った。
3	精神科ソーシャルワーク論Ⅲ	○	15	精神障害者への支援の基本的考え方、精神科リハビリテーションの考え方、知識、技術、支援的地域社会の構築について、講義を行った。
4	スタートアップセミナー		3	講義、プロジェクト型学習において、学生が意欲的に課題に取り組み、気づきを得られるよう主担当をサポートした。
5	グローバルヘルスと看護		1	国連障害者権利条約の趣旨および国内法への影響から障害施策分野における進展を理解できるよう講義を行った。
6	精神保健学	○	7	ディスカッションと各回のまとめの提出を通し、学生が自身に照らして精神保健福祉学への理解を深めることができるよう講義を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	社会福祉演習Ⅰ		15	情報センターの利用、レポートの書き方、プレゼンテーション等を含め、情報を得て考えをまとめ表現しあう演習を行った。
2	精神保健福祉援助演習Ⅰ	○	15	事例検討やロールプレイ、グループ活動、視聴覚教材の活用を通して、精神保健福祉の実際と支援について具体的に理解を深めた。
3	社会福祉専門演習Ⅰ		15	文献の検索、精読、議論を通し、思考し文章化するための演習を行った。TEACCHや国際的なソーシャルワークの動向への学びを深めた。
4	社会福祉専門演習Ⅱ		15	文献の精読、議論を通し、思考し課題を整理するための演習を行った。
5	社会福祉専門演習Ⅲ		15	議論を通して、目的に沿って論理的に課題を整理し、文献調査を進め、思考を文章化する演習を行った。
6	社会福祉専門演習Ⅳ		15	論文の作法を修得し、4年間の学びの総括に取り組んだ。
7	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		15	実習目的の明確化、事業所や関連制度等の理解を含めた事前指導を行った。
8	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		15	現場実習での巡回指導、実習の学びの振り返り及び実習のまとめの確認などの事後指導を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	精神保健福祉援助実習Ⅰ		2022.7～2022.9 学内実習：8	4年次生を対象に、精神科医療機関での12日間の実習指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
2	精神保健福祉援助実習Ⅱ		2022.7～2022.9	4年次生を対象に、主に精神障害者を支援するサービス事業所等での12日間の実習指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
3	ヒューマンケア体験実習		学内実習：15	学生の参加とチーム活動を促進し、グループ発表では学生が発表とディスカッションを通してさらに思考を深められるよう主担当を補佐した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主旨導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022.4～2022.12	主旨導	5名 副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	佐久大学 非常勤講師	2022.10～2023.2	「障害の福祉学Ⅰ」（15コマ）を非常勤講師として担当した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	要保護児童対策調整機関の調整担当者研修等	埼玉県福祉部こども安全課	「障害相談・支援の基本」を担当した。	2022.12.14
2	埼玉未来大学 川越キャンパス	公益財団法人いきいき埼玉	「共生社会を考える」	2022.12.15

3	埼玉未来大学 熊谷キャンパス	公益財団法人いきいき埼玉	「共生社会を考える」	2022.12.21
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	越谷市	越谷市社会福祉審議会 地域福祉専門部会 委員		2021.5~2024.5
2	北本市	北本市地域福祉推進委員会 委員長		2021.10~2024.9
3	特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会	理事・国際委員会委員		2021.7~2023.6
4	公益財団法人社会福祉振興・試験センター	精神保健福祉士国家試験作問委員		2022.5~2024.4
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	入試実施部会		2022.4~2023.3
2	学科等における委員会等	精神保健福祉士関連科目履修者選考委員会委員		2021.4~2023.3
3	学科等における委員会等	社福カリキュラム運営WG		2021.4~2023.3
4	大学広報活動	高校訪問 (和光国際高校)		2022.8.4
5	大学広報活動	高校での分野別ガイダンス (東京都立江北高校)		2023.3.20
6	大学広報活動	夢ナビ講義		2022.4~2023.3
7	大学広報活動	オープンキャンパス (6/12,6/18,8/6,8/7) の準備、進行		2022.6~2022.8
8	学生支援	3年生 (前期2名、後期4名) 4年生 (5名) 学生担任担当		2022.4~2023.3
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			